

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成30年1月19日
【事業年度】	第17期（自平成28年4月1日至平成29年3月31日）
【会社名】	日本商業開発株式会社
【英訳名】	Nippon Commercial Development Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松岡 哲也
【本店の所在の場所】	大阪市中央区今橋四丁目1番1号
【電話番号】	06（4706）7501（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役財務・経理本部長 入江 賢治
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区今橋四丁目1番1号
【電話番号】	06（4706）7501（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役財務・経理本部長 入江 賢治
【縦覧に供する場所】	日本商業開発株式会社東京支店 （東京都千代田区丸の内一丁目4番1号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成29年6月29日に提出いたしました第17期（自平成28年4月1日至平成29年3月31日）有価証券報告書の記載事項に一部訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

（連結キャッシュ・フロー計算書関係）

（企業結合等関係）

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

1 省略

2 当連結会計年度に新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

新たにニューリアルプロパティ株式会社を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びにニューリアルプロパティ社株式の取得価額とニューリアルプロパティ株式会社取得のための支出(純額)との関係は次のとおりであります。

流動資産	3,797,568	千円
固定資産	11,819,968	
流動負債	275,186	
固定負債	7,148,329	
非支配株主持分	1,987,416	
負ののれん発生益	4,577,713	
段階取得に係る差損	1,787,271	
投資有価証券(持分法適用時)	2,350,926	
株式の取得価額	1,065,237	
現金及び現金同等物	2,960,223	
差引：取得のための支出	1,894,986	

(訂正後)

1 省略

2 当連結会計年度に新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

新たにニューリアルプロパティ株式会社を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びにニューリアルプロパティ社株式の取得価額とニューリアルプロパティ株式会社取得のための支出(純額)との関係は次のとおりであります。

流動資産	2,735,838	千円
固定資産	11,819,968	
流動負債	275,186	
固定負債	7,148,329	
非支配株主持分	1,990,922	
負ののれん発生益	4,577,713	
段階取得に係る差損	1,787,271	
投資有価証券(持分法適用時)	2,350,926	
株式の取得価額	-	
現金及び現金同等物	1,894,986	
差引：取得のための支出	1,894,986	

(企業結合等関係)

(訂正前)

取得による企業結合
省略

1. ~ 6. 省略

7. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

(1) 資産の額

流動資産 3,797,568千円

固定資産 11,819,968

資産合計 15,617,536

(2) 負債の額

省略

(訂正後)

取得による企業結合
省略

1. ~ 6. 省略

7. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

(1) 資産の額

流動資産 2,735,838千円

固定資産 11,819,968

資産合計 14,555,806

(2) 負債の額

省略